

(1) NO. 22 平成15年 9月号 こもれび

こもれび・komorebi・木もれ日  
**木もれ日**

総合建設  
株式会社 **日向建設** ひゅうが せつ  
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4  
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか  
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303



家の裏のどんぐりの木から、お庭にどんぐりがコロコロ落ちるので、通称「どんぐり荘」!

**今月の特集!!**

「古くても良いもの、残したいものは、できるだけ再利用！」

古き良き趣はそのままに今、蘇る…!  
築70年以上の日本家屋、改装完了!

今日は、リフォーム工事が完了したばかりのお宅を見学させて頂きました。



玄関ドアと外部 下見板

『玄関』……もとは引き戸だったものを防犯上の理由でドアに改装。玄関の横には、鍵つきの網戸を付けました。玄関ドアの上の素敵なガラスは、Y様の希望により古い引戸の上にあったものを取り付けました。「このガラスは、どうしても残したくて。工事が大変になるのを承知で、使って欲しいとお願いしたんです」

玄関の天井もこだわりが感じられます。格(ごう)天井と呼ばれる作り方。職人さんの技により、木の美しさが引き立つ仕上がりになっています。また、敷き台には、昔ピアノの置き台(ケヤキの一枚板)だったものを再利用しました。

「光る職人技は、昔ながらの日本家屋だからこそ」

中に入ると、純和風の日本家屋のよさはそのままに、設備は最新のものにリフォームされています。

『ふすま』……「鳥の子」と呼ばれる、最高級の和紙を使用しています。6枚の下紙の上に貼っていくのでとても難しく、熟練の職人さんしか扱えないものです。経師屋の松岡さん(免許皆伝の職人さんです)が、美しく仕上げてくださいました。

『壁・建具』……壁は漆喰。建具はヒバの木を使用。ヒバの木は水に強く、細菌にも強いのです。また、ヒノキチオールという体に良い成分が出ます。

『蓄熱式床暖房』……一部を除いて、居間や廊下などの殆どの床に、『蓄熱式床暖房』を取り入れました。Y邸の熱源は、光熱費の事を考えて灯油にしました。輻射熱を使った床暖房は、健康にも良く、空気も汚さない最新の設備です。「早く寒い日に試してみたいわ。」とY様もとてもうれしそうな様子です。

**施主様の意見をどんどん取り入れ、施工していくことが出来る。これこそ“毎日が現場見学会”というリフォームの醍醐味です。**



玄関の格天井



大工の佐藤さん



大工の梅木さん



表具師 松岡さん



床はトイレまでバリアフリーの設計

**あちこちにアイデアいっぱい! 家づくりは、楽しみながら!**

「普通ドアの止め具は下についているでしょう?でも、私は上につけてもらったんです。雨戸は、ブラインドのように開閉できるものにしてもらいました。一日に何回も使用する物は、なるべく使いやすくと考えたんです。」

Y様は、毎日現場を見て、プロも思わず唸るようなアイデアを沢山出して下さったとか。

収納スペースや網戸の種類など、多くの

(2) こもれび



洋室の内部。床から窓まで腰壁(こしかべ)を貼りました。腰壁は、家具などがあたって壁が痛まないように保護してくれます。見た目もオシャレ!



L字型のキッチン。天窓があるので明るい! せっかく火を使用しない床暖房なので、キッチンもIH式で炎は不使用に。収納にもこだわっています。

「台所に『天窓』をつけてもらいました。最後まで悩んで、『今ならまだ間に合いますか?』と工事がだいぶ進んでからお願いで。色々無理を言っ

「工事途中でどんどん意見を出して頂けてよかったですよ。“使う方が後悔しない家づくり”をすることが一番大切なことだと思っています。時々、建て主さんの希望がはっきりしていない場合もあって、こちらが悩んでしまう事もあります。Y様のように、ご希望を沢山出してくださると、よりよい家づくりが具体的に実現できますよね。」  
「私はやっぱり、何より古い家の良いものを沢山再利用して残せたことが、一番嬉しかったです。」  
「素晴らしい家づくりのお手伝いをさせて頂き、ありがとうございました!」  
工事が終わった時に、Y様が「本当に楽しかった。明日から淋しくなるわね。」と云ってくださった言葉が心にしみわたりました。

【扇が谷Y邸にかかわった業者の皆さん】

このほかにも沢山の職人さんの手で作られました!



水道工事 今野さん



電気設備 中村さん



板金工事 吉田さん



左官の二代目 新井さん

**天然素材 ~セルロース『断熱材』**

今回は、家の断熱材についてお話したいと思います。表からは見えない断熱材ですが、『暮らしの快適』を作る主役なのです。

セルロース断熱材の原料は、100%が古紙のリサイクルで出来ています。地球環境を考えた、快適な住空間を求めると自然に天然素材の断熱材にたどり着きます。

セルロース断熱材には、繊維同志のからまり合いで生じる気泡に加え、木繊維特有の無数の微細な空気泡があり、この二重の断熱効果で優れた性能を発揮します。さらに、壁に吹き付けるスプレー工法で、柱間に完全に隙間なく、吹き付けるため、空気の流通が止められ、断熱性のみならず機密性も高まります。

★国際的に認められた安全性

万一の火災の時、一般的なグラスウールは熔けて、炎や煙の通路を作ってしまう。セルロース断熱材は、延焼を抑えるたくましい防壁であり、有毒ガスも発生しません。  
(安全性…並行政府機関の先進ケミファイ認証)

★防虫・防カビにも万全

防火用に添加されるホウ酸系の薬品の持つ殺菌力は、眼科の洗眼に使われるほど安全ですが、ゴキブリ用のホウ酸団子のように、カビや腐朽菌、ダニ、虫類やねずみを防ぎ、建物を守ります。そして、健康的な住まい環境を作ります。

★調湿性

気泡は住宅内の過剰な湿気や臭気を吸着します。グラスウールなどでは、暖房室内の水分が壁に侵入し外壁で冷やされて水滴になり、住宅の腐りの原因になるため、防湿シートの施工が欠かせません。セルロース断熱の家では居心地の良い環境を実現します。

★防音性

セルロース繊維自身の多孔性とグラスウールの3~4倍の高密度充填のおかげで、交通騒音から話し声まで幅広い騒音を吸収し、住宅にあきらかに静寂をもたらします。

今、日向建設では、この天然素材に大変注目しており、実際に現場でも使用しています。次回はその施工現場を



**今月のお気に入り!**



鎌倉石です

今回のお宅で、外の水道蛇口の流しに使われているこの大きな石。じつは工事の際に、床下から出てきたものだそうです!

昔はこの石の中に木炭などの熱源を入れて、コタツの暖をとっていたようです。この石を水周りに再利用し、みんなをあとと言わせたのは、職人の通称「ヤマちゃん」。

水道工事屋さんです。



施主様をはじめ、関係者全員から大絶賛でした!

**編集後記**

今回Y邸の工事を施工しているとき、木の持つ本物の良さを実感しました。お客様と一緒に柱を磨き、天井を拭き、欄間や式台・建具を掃除していると「芯持ちの檜はいいねー。杉の板もいいねー。いい色合いに変化してきているよ。」と80年も前の職人さんとお話しているような気分になりました。真っ白く塗り直された漆喰の壁と、ほどよく色づいた木肌が時の経過を忘れてしまうほど新鮮に感じます。  
昭和初期に建てられた家を壊さずに、リニューアルしていく仕事をしたいと思っています。  
御一緒に「快適な住まいづくり」を考えて行きましょ